

# 平成 28 年度 公益社団法人京都市観光協会事業報告

## 平成 28 年度重点取り組み項目について

### 1 「京の夏の旅」、「京の冬の旅」の一層の充実

「京の夏の旅」「京の冬の旅」キャンペーン事業において、魅力あるテーマの設定、観光客のニーズに応えたイベントの実施、誘致宣伝販売の強化等、京都への旅行商品造成と宣伝販売促進に努めるとともに、JR や関西私鉄各社、京都市交通局でのポスター掲出、パンフレット配布などの宣伝協力を得て、京都観光の盛り上げを図った。

#### (1) 「京の夏の旅」

JR 各社をはじめ、京阪、阪急、近鉄、南海、阪神の私鉄各社、京都市交通局や旅行会社各社など、関係機関との密接な連携のもと幅広い宣伝展開を図るとともに、観光客のニーズに応えた新たな観光施設の開拓や「学校に残る文化財」など京都ならではのテーマを設定し誘致宣伝を強化した結果、多くの観光客を受け入れることができた。

文化財特別公開については、拝観見学者数が過去最多であった昨年の実績 151,555 人を大きく上回る 166,310 人を数え記録を更新した。

また、「定期観光バス特別コース」については、乗客数は 3 コース合計 7,341 人、対前年度比 84% で、例年以上に猛暑日が続いたことが影響し、前年度実績を下回る結果となった。

#### (2) 「京の冬の旅」

JR 6 社共同によるデスティネーションキャンペーンとして全国規模での誘致宣伝に努めるとともに、関西私鉄各社、京都市交通局とも連携を図り、京阪神等での宣伝強化にも努めた。

非公開文化財特別公開については、「大政奉還 150 年」をテーマとし、初公開箇所を多数設定するなど充実を図り、拝観者数は対前年度比 107%、拝観者数が 374,514 人と、過去最多であった平成 20 年度に次ぐ 2 番目となる記録となった。

「京の冬の旅」定期観光バス特別コースについては、平成 28 年度には新たに

「夜のコース」を設定し、「朝のコース」や学びの要素が詰まった「大人の修学旅行コース」とともに、特別コース 8 コースを運行した。乗客人数合計は 11,311 人で、50 回記念であった平成 27 年度は 13 コース設定したこともあり、合計では対前年度比 91%となったものの、定番の特別 4 コース（うるわし・あじわい・みやび・やすらぎコース）では合計 10,649 人と対前年度比 98%でほぼ前年度並みの実績となった。

## 2 京都「千年の心得」、「京のたしなみ」等体験プランの充実と通年型観光の推進

千年を超える歴史に培われた京都ならではの奥深い上質な魅力に出会うことのできる体験型観光プラン京都「千年の心得」事業、京都の伝統文化、伝統産業の魅力にふれることのできる体験型素材を集めたキャンペーン「京のたしなみ」事業、京の食をテーマとしたキャンペーン「食遊菜都」等の体験型観光プランを実施するとともに、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」といったテーマをもとに特別感のある観光メニューを企画し、京都への更なる観光客誘致推進を図った。中でも特に開館前の施設での特別見学や社寺での早朝拝観や体験といったイベントを多数企画し、昼間とはひと味違った観光を楽しむ「朝観光」の充実を図った。

## 3 外国人観光客受入対策の強化

急増する外国人観光客の受入に対応するため、多言語地図の配布や英語情報誌「Kyoto Recommends」を継続発行し、地域の観光資源を掘り下げたエリア特集や協会会員施設の紹介など、外国人観光客に向けて協会ならではの情報を発信した。

また京都市、京都文化交流コンベンションビューローが創設し運営する京都市認定通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」について、両者と連携し広報活動を行ったほか、近畿運輸局からの受託事業として「京都市認定通訳ガイドを活用した元離宮二条城ツアーの実施に向けた調査等事業」を実施した。

## 4 京都四大大行事の円滑な執行の支援

京都の観光振興に欠かせない葵祭・祇園祭・京都五山送り火・時代祭の京都四大大行事が、安定的に執行されるよう補助金の交付をはじめとする支援を行うとともに、タイムリーな催事情報を伝えるため、ホームページや SNS を活用し情報発信に努めた。

葵祭・祇園祭・時代祭については、観覧席を設置し、観光客の利便や旅行会社のツ

アー設定に寄与したほか、観覧席周辺の沿道整理等を行った。平成 27 年の時代祭に続き葵祭、祇園祭でも英語解説付き観覧席を設置し、外国人観光客への利便性の向上を図った。

また、葵祭・京都五山送り火については、協賛会の事務局を務め、協会会員への募金活動等を行い、行事の円滑な運営に寄与した。

## 5 京都総合観光案内所の“おもてなし”の向上と民間設置観光案内所との連携

京都総合観光案内所「京なび」の平成 28 年度の年間相談者数は約 82 万人で、一日平均 2,200 人以上、多い日には 3,800 人を超える観光客で連日にぎわい、およそ半数（49.2%）が外国人観光客であった。これまで案内所内の混雑緩和を図り、来所者がストレスなく観光情報を入手できるよう、パンフレット配架や掲示の工夫を行ってきたが、平成 28 年度にはこれに加え、展示コーナーに伝統産業工芸品の展示を行うなど、対面の相談にとどまらない施設としてのおもてなしの向上に努めた。

また、京都市内の民間観光案内所が参画する「京都市内観光案内所ネットワーク会議」を京都市とともに開催し、京都総合観光案内所を中心とした各案内所間の情報共有や外国人来所者の増加等、運営上の課題についての意見交換と研修会を行い、市内全体の観光案内機能の充実に努めた。

特に、京都総合観光案内所の立地する京都駅については、各インフォメーション窓口間で観光客のニーズに適合した窓口を相互に案内・誘導できるよう「京都駅ホスピタリティ向上に関する検討会」を開催し、各窓口の機能等の情報共有をすすめた。

## 6 京都市観光協会の組織強化

観光を取り巻く目まぐるしい変化にしなやかに対応するには、世界を見据えた戦略と実行体制の更なる進化が重要であることから、京都市版DMOの構築に向けて、観光推進体制の更なる充実に取り組んだ。

### <平成 28 年度の主な取組>

- 4 月 ・ 協会事務局の執務室を、京都朝日会館の京都市観光M I C E 推進室と同フロアに移転し、市との連携を強化
  - ・ 河原町三条観光情報コーナーを新設し、これまで協会事務局で行っていた観光情報の提供や修学旅行の相談業務を合わせて実施
- 5 月 ・ （公財）京都文化交流コンベンションビューローの国際観光コンベンション部長を協会参事として兼職発令

- 7月 ・マーケティング調査や組織改革等を担う「DMO企画リーダー」を新規採用
- 8月 ・JR西日本から京都の観光振興に経験豊富な職員を事務局次長として出向受入
  - ・観光庁「日本版DMO候補法人」認定
- 10月 ・担当課長制を導入し「課」を跨ぐ担当者の業務分担変更を実施
- 2月 ・観光庁「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」を活用し、二条城の英語ガイドツアーを京都市、ビューローと共同実施
- 4月 ・協会事務局を「企画推進部」、「国内誘客推進部」、「国際誘客推進部」の3部体制にするなどの組織改正や人事異動を実施
  - ・これまでビューローで実施していた認定通訳ガイドの養成や外国人観光客向けのイベント企画等に取り組む「国際誘客推進部」は、ビューローからの転籍、新規採用により職員を増員

## 平成 28 年度事業報告について

### I. 観光都市京都の紹介宣伝事業（公益目的事業会計）

#### 1 JR 委員会の活動

JR グループ各社と共同で観光客誘致を推進するため JR 委員会を運営し、JR 各社との連携による各種の効果的な誘致宣伝活動を実施した。

##### (1) JR グループ 6 社共同キャンペーンの継続実施

昭和 54 年度より長年にわたり実施している JR グループとの「京の冬の旅」キャンペーンについて、京都市と共同で JR グループ 6 社によるデスティネーションキャンペーンとして引き続き実施を要請し、冬季の観光振興を図る最重点事業として取り組んだ。

また、平成 29 年 3 月 6 日・7 日に、JR グループ 6 社および全国の主要旅行会社の商品造成担当者を招き全国宣伝販売促進会議を開催し、次年度となる平成 29 年度の京の冬の旅キャンペーンについて旅行商品の設定及び宣伝販売促進を要請した。

##### (2) JR 西日本との共同事業「京都・大阪・神戸観光推進協議会」への参画

関西の観光地としてそれぞれの特徴を持った、京阪神三都市への観光客誘致を推進するため京都市とともに協議会に参画し、全国的に定着している“三都物語”キャンペーンについて、JR 西日本と共同で金沢や熊本で観光キャラバンを開催するなど誘致宣伝活動に取り組むとともに、旅行会社やマスコミを対象とした現地説明会等に取り組んだ。また、海外誘客に向け台湾、マレーシアの観光イベントでのパンフレット配布等にも取り組んだ。

- ① 首都圏・九州・中国・北陸エリアの旅行会社の造成・販売担当者を招き、三都現地説明会を実施
- ② 首都圏・中国・九州エリアを中心にマスコミ機関を招き、プレスツアーを実施し、新聞・レジャー雑誌・タウン情報誌等に記事を掲載
- ③ 三都及び冬季のイルミネーションイベント等の PR イベントを熊本で実施し、ステージでの PR やパンフレットの配布とあわせて、地元マスコミへの情報提供・表敬訪問を実施
- ④ 石川県で開催された観光フェスタ「MRO 旅フェスタ 2016」に参加し、ブース展開・ステージ発表・ラジオ放送への出演等を実施
- ⑤ 旅行会社等が販売する三都向け旅行商品の購入者に対するプレゼントキャン

ペーンを実施

- ⑥九州からの旅行需要喚起を目的として、20代～30代女性をターゲットとしたWEBページ「マイ・フェイバリット関西」とタイアップした『「関西いっとク」キャンペーン』を実施。
- ⑦ 台湾で開催された「日本の観光・物産博」で、三都の観光パンフレットを配布
- ⑧ マレーシアの旅行博「MATTA」に出展し、三都の観光パンフレットを配布

### (3) JR東海との共同事業「京都観光宣伝協議会」への参画

首都圏および東海道新幹線沿線地区から観光客誘致を図るため京都市とともに協議会に参画し、JR東海の宣伝媒体をはじめ様々なメディアを活用した情報発信を行うとともに、PRイベントを実施した。

「京の夏の旅」「京の冬の旅」キャンペーンと連動した首都圏イベントや首都圏百貨店での京都展等において「京の夏の旅」「京の冬の旅」「京の七夕」「京都・花灯路」事業をPRするため、舞妓を派遣するなど京都観光ブースを設置して積極的な京都観光PRに努めた。

実施会場、実施日は以下のとおり。

○東京駅・品川駅	8月3日
○東京ビッグサイト（ツーリズム EXPO ジャパン 2016）	9月22日～25日
○横浜タカシマヤ	10月5日～10日
○日経ホール	12月10日
○KITTE	2月4日
○代官山 T-SITE GARDEN GALLERY	2月11日
○有楽町駅	2月12日

### (4) JR東日本グループとの連携

JR東日本グループの旅行会社と京都の宿泊施設等を中心に組織された「びゅう京都」に参画し、宿泊客の誘致対策等の検討や情報交換を行った。

### (5) JR西日本との連携

JR西日本の主要駅等で「京の夏の旅」「京の冬の旅」「京の七夕」「京都・花灯路」事業をPRするため、京都市とともに舞妓の派遣や京都観光ブースの設置とあわせて観光物産展を開催するなど、積極的な京都観光PRに努めた。実施会場、実施日は以下のとおり。

○JR和歌山駅・和歌山近鉄	5月21日～22日
○JR高槻駅・天王寺駅・三ノ宮駅・茨木駅	6月23日～24日
○イオンモール岡山	7月2日～3日
○JR大阪駅	10月8日

○ J R 博多駅	11 月 30 日
○ J R 高槻駅・三ノ宮駅・茨木駅・天王寺駅	1 月 19 日～20 日
○ 天神ソラリア ゼファ (福岡)	1 月 27 日～28 日
○ J R 京都駅	2 月 5 日

## (6) J R 九州との連携

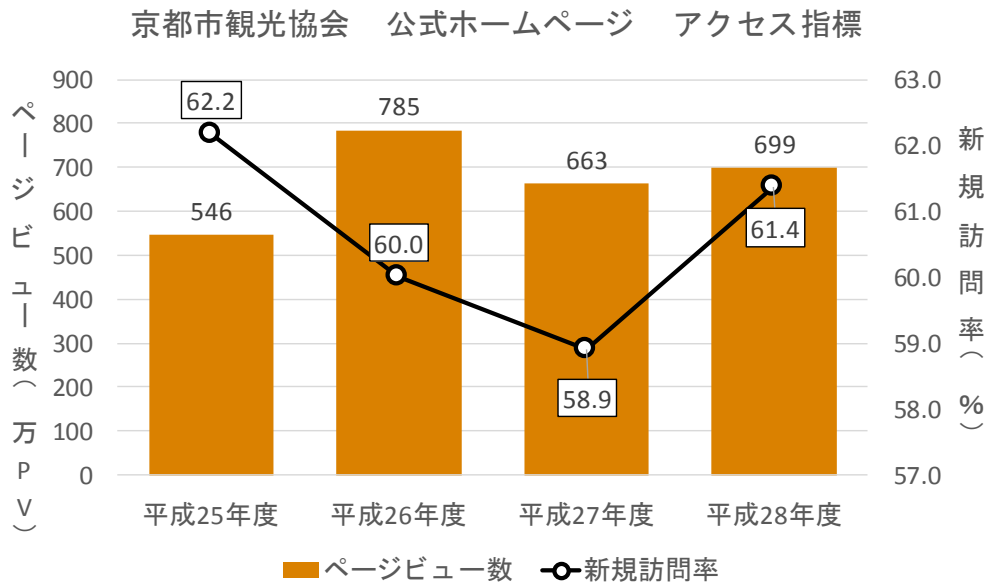
J R 九州と連携し、京都向けの旅行商品の設定をするなど、観光客誘致につながる取り組みを実施した。

## 2 インターネット情報発信の充実

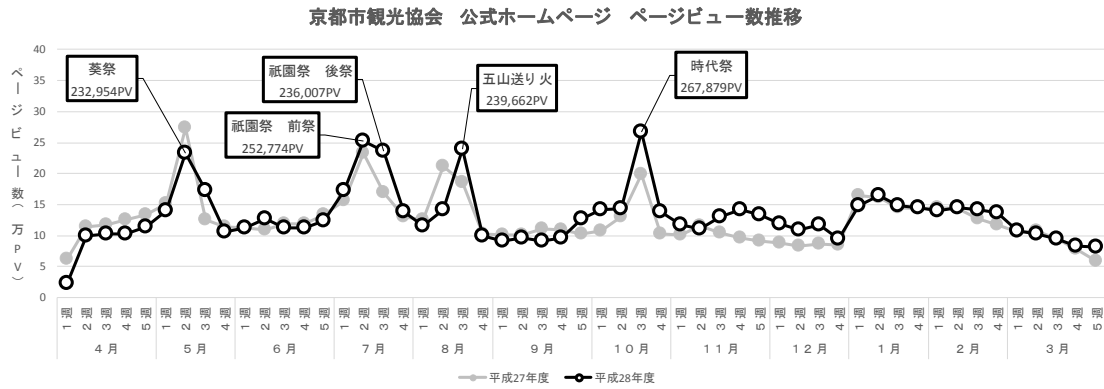
### (1) インターネットでの観光・会員情報の発信充実

「京都市観光協会ホームページ」、多言語ページ「KYOTO-MAGOnoTE」を活用し、6ヶ月先までの観光情報・会員情報を収集・更新して発信を行った。平成28年度は、旧三井家下鴨別邸、二条城売店、京都市河原町三条観光情報コーナー等、新たな事業を中心に特設ページやバナー広告を設置して周知を図った。

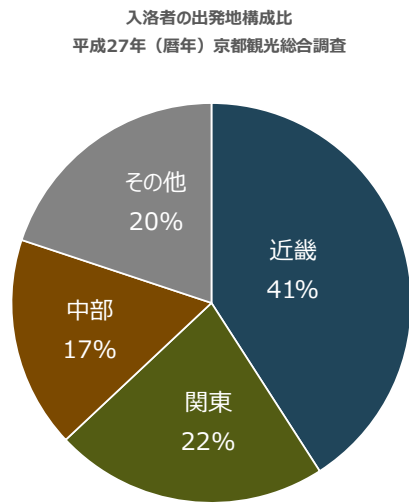
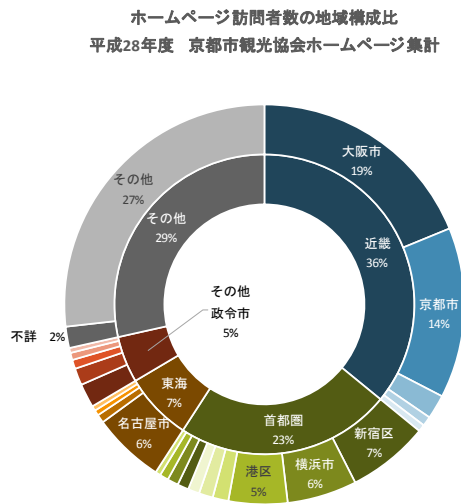
日本語版公式ホームページのページビュー数(延べ閲覧画面数)は約699万PVとなり、前年比5.4%の成長となった。また、新規セッション率(前月の閲覧が無かった人が占める割合)は61.4%となり、前年比1.5ポイントの上昇となった。いずれも、前述の新設ページによる効果であると考えられる。



季節別の変化に注目すると、四大自然の時期にページビュー数が高騰しており、観光客の情報収集の需要の受け皿として機能していることが確認できた。なお、10月～12月にかけてのページビュー数が前年を上回っているのは、旧三井家下鴨別邸の特別公開にあたって、特設サイトの閲覧が増えたことによるものである。

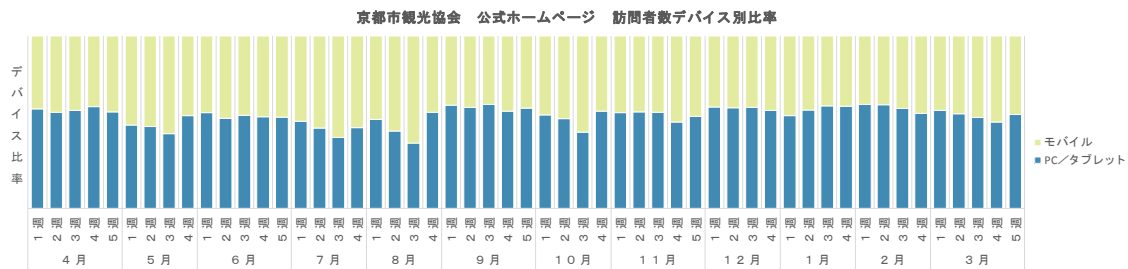


閲覧者の地域構成比は、大阪市、京都市などの近距離圏が最も多く、36%を占めた。次に首都圏が23%、東海が7%と続いた。ただし、この集計結果は上位25位を特定して集計したものであり、26位以下の「その他」にも近畿や首都圏に相当する地域が含まれるため、注意が必要である。この点を考慮すると、ホームページ閲覧者の構成比は、入洛者数の実績値と概ね対応していると考えられる。





閲覧に使用された機器は、PC・タブレットとモバイル端末の比率が概ね同数程度で推移していた。ただし、閲覧が集中する四大会期の時期はモバイルでの利用が増え、それ以外の時期はPC・タブレットが増える傾向があった。したがって、四大会期に関する情報を中心にモバイル端末での閲覧に対応した情報発信を強化していく必要があるといえる。



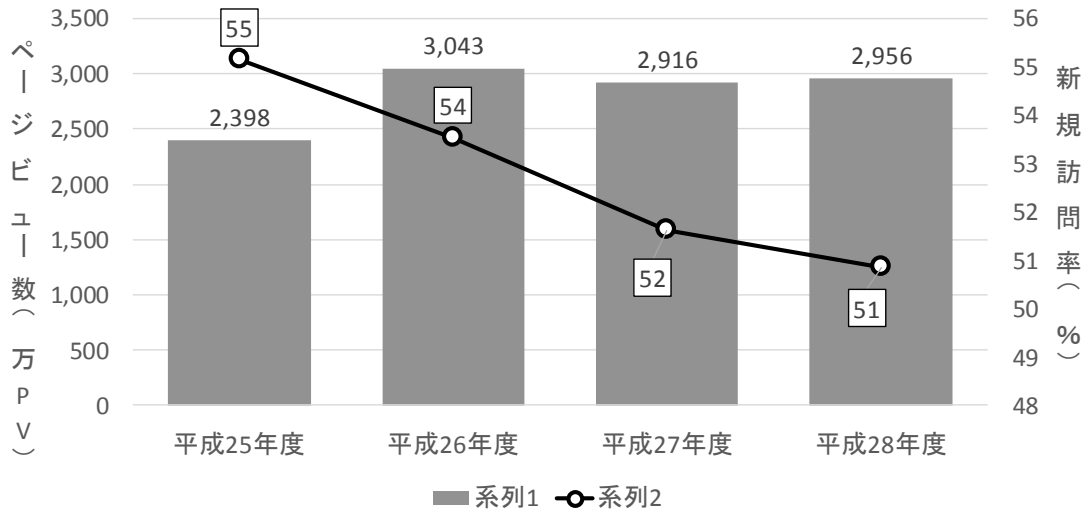
外国人観光客向けの情報発信のため、英語・フランス語・中国語（簡体字と繁体字）・ハンデルに日本語を加えた 6 言語のホームページ「KYOTO－MAGOnoTE」を運営した。英語による三大祭の告知や観覧席発売情報、京の冬の旅キャンペーン、また英語情報誌「Kyoto Recommends」の PDF 版などを新たに掲載し、一層の内容充実を図った。平成 28 年度総ページビュー数は 283 万 PV となり（平成 27 年度 288PV）、ほぼ前年並みとなった。もっとも閲覧利用が多かったのは、関西国際空港から京都市内への交通手段を解説したページであり、市内交通の混雑緩和につながる情報元としての活用が期待できる。

## (2) 京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の受託

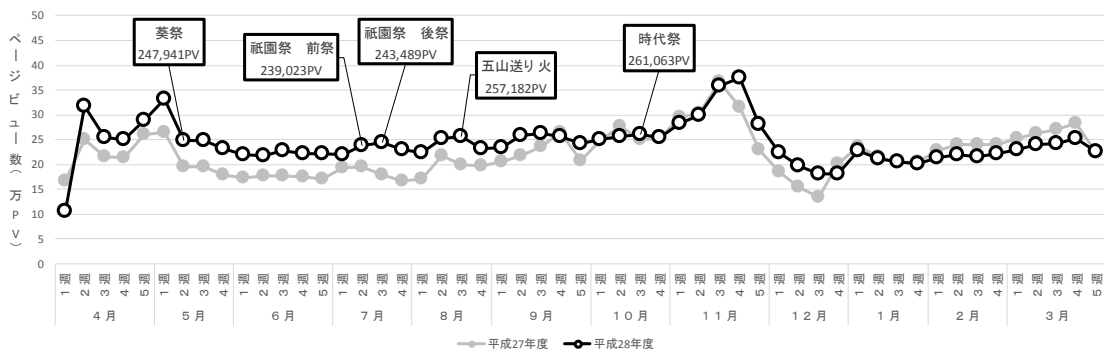
京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の運営を京都市から引き続き受託し、最新の情報が掲載されるよう各施設への照会を行い、利用者のニーズが満たされるよう努めた。

ページビュー数（延べ閲覧画面数）は約 2,956 万 PV となり、ここ 3 年間は横ばいで推移している。また、新規訪問率（前月の閲覧が無かった人が占める割合）は 50.8%と減少傾向であり、定期的にホームページを訪問する人が増えつつ有ると考えられる。

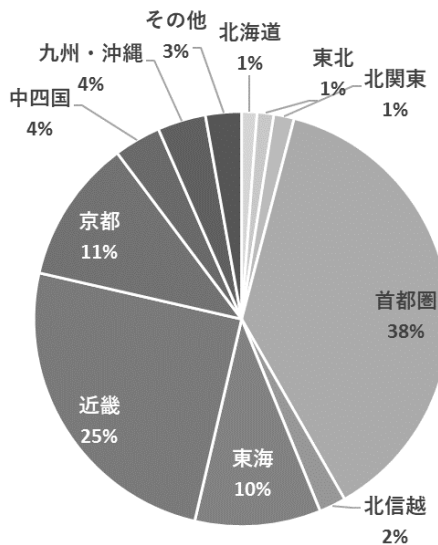
### 京都観光Navi アクセス指標



### 京都観光Navi ページビュー数推移



### ホームページ訪問者数の地域構成比 平成28年度 京都観光Navi集計



### (3) ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の活用

facebook を活用し、観光情報をはじめ、三大祭の開催の有無や開花情報など、タイムリーな情報の発信を行った。閲覧者の規模を表す指標「いいね！」数は、平成 28 年度当初の 16,629 件から、年度末には 24,431 件まで増加した。現在は、約 15 万人の視聴者に訴求できる媒体へと成長している。

主な閲覧者は 40 歳前後の世代であり、男性のほうがやや高齢に分布している。全体の約 66% を占める日本語話者の次に多いのが台湾や香港からの閲覧 (約 19%) であり、中文繁体字利用者向けの情報発信媒体との連携も視野に入れた検討が必要である。

## 3 誘致宣伝印刷物の作成配布

### (1) 月刊誌「京ごよみ」の編集発行

2 ヶ月・3 ヶ月先の情報を掲載した『京ごよみ』を京都市と共同で毎月 4 万部発行し、観光客はじめ会員、首都圏を中心に旅行会社、マスコミ機関等に配布して観光客の誘致を推進した。

### (2) 外国人観光客向け情報誌の編集発行

26 年度に創刊した英語情報誌「Kyoto Recommends」を継続発行し (年 3 回、3 万部ずつ)、外国人観光客にお勧めしたい京都のみどころや「食べる」「買う」「体験する」に特化した協会会員施設を紹介するなど、協会ならではの情報を発信した。

### (3) 誘致ポスターの作成配布

京都四大大行事をはじめ、各種年中行事や観光イベントの誘致ポスターを作成し、JR 各社の全国主要駅、私鉄各社の主要駅を中心に掲出するとともに、旅行会社、観光案内所および全国各地の京都展、物産展等へ適宜効果的に配布した。

(4 月) 春のをどり・鴨川をどり・葵祭・大原女まつり

(6 月) 祇園祭

(7 月) 41 回「京の夏の旅」・京都五山送り火

(9 月) 時代祭

(12 月) 51 回「京の冬の旅」

(3 月) 都をどり・平安神宮「桜」

\* ( ) 内は掲出月

## 4 京都観光推進協議会への参画

京都市ならびに関係業界で組織する京都観光推進協議会に参画し、修学旅行および一般観光客誘致対策に重点をおいた活動を推進した。

## 5 全国各地の「京都展」での誘致宣伝活動

首都圏はじめ全国各地の主要都市の百貨店で開催された「京都展」や「物産展」を共催、後援し、観光コーナーへのパンフレット配布や、ポスターを掲示して、京都観光のPRを実施した。

## 6 秋冬の京都観光宣伝キャラバンの実施

国内旅行者の「京都はいつも混んでいる、宿がとれない」とのイメージを払拭し、特に首都圏からの秋冬の誘客を図るため、京都観光旅館連盟、京都府旅館ホテル生活衛生同業組合、京都市と共同で、平成28年11月21日、22日の両日、東京の主要メディアを訪問する宣伝キャラバンを実施した。

訪問日：11月21日・22日

訪問先：産経新聞社、フジサンケイビジネスアイ、産経デジタル、夕刊フジ、京都新聞社東京支社、スポーツニッポン新聞社、日刊スポーツ新聞社、サンケイスポーツ編集局、株式会社MANTAN、株式会社oricon ME

掲載状況：新聞紙面掲載7件、Webでの記事掲載・転載42件

# II. 京都ブランドの向上を目指す京都観光振興事業（公益目的事業会計）

## 1 「京の夏の旅」キャンペーンの実施

夏季観光客誘致事業として取り組んでいる「京の夏の旅」キャンペーンは、「文化財特別公開」や、定期観光バス特別コースの運行、京の歴史文化に培われた「伝統産業・文化」、昼間とはひと味違った観光を楽しむ「朝観光・夜観光」、豊かな食材と伝統の技を楽しむ「京の食文化」等様々な切り口から、幅広い層の観光客に京の夏を楽しんでいただけるよう多彩なイベントを企画実施した。

また、JR各社をはじめ、京阪、阪急、近鉄、南海、阪神の関西私鉄各社、京都市交通局など、関係機関との密接な連携のもと、誘致宣伝活動の強化や旅行商品化の促進に努めた。

(1) 第41回「京の夏の旅」文化財特別公開

「学校に残る文化財」や「お屋敷・庭園の美」をテーマに普段見ることのできない社寺や施設を個人・団体でも見学できるよう7か所で実施した。拝観・見学者数の合計は、過去最高の166,310人で、対前年度比110%、1日当たりの平均拝観・見学者数でも対前年度比107%となった。

公開期間 7月9日～9月30日（一部異なる）

公開箇所 藤田家住宅／並河家住宅／平安女学院大学 有栖館／ノートルダム女学院中学高等学校 和中庵／上賀茂神社 本殿・権殿・庁屋／下鴨神社 本殿・大炊殿／高台寺

拝観・見学者数 166,310人

(2) 第41回「京の夏の旅」定期観光バス特別コース

7月から9月末までの期間、「京のお屋敷と名庭園めぐり」、「世界遺産のお社と旧社家をたずねて」、夜の特別コース「宮廷鶺鴒と夕景の嵐山」の3コースを設定し運行した。乗車人数合計は7,341人、対前年度比84%となった。各コースの実績は以下のとおり。

コース名	運行期間	対象箇所	乗車人数
京のお屋敷と名庭園めぐり	7月9日～9月30日	藤田家住宅／並河家住宅（又は南禅寺天授庵）／平安女学院大学 有栖館／鶴屋吉信（茶菓）／八千代（昼食）	4,016人
世界遺産のお社と旧社家をたずねて	7月9日～9月30日	上賀茂神社 本殿・権殿・庁屋／下鴨神社 本殿・大炊殿／上賀茂 西村家庭園／下鴨 旧浅田家住宅／葵家やきもち総本舗（茶菓）／山ばな平八茶屋（昼食）	1,714人
宮廷鶺鴒と夕景の嵐山	7月1日～9月23日	嵐山宮廷鶺鴒（鶺鴒匠による鶺鴒の説明付）／法輪寺と夕景の嵐山散策／渡月亭（夕食）	1,611人

(3) 京都「千年の心得」（実績等詳細は21～22ページに掲載）

(4) 京の食文化キャンペーン「食遊菜都2016・夏」

（実績等詳細は23ページに掲載）

(5) 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」(実績等詳細は 23～24 ページに掲載)

(6) 京の夏の旅キャンペーンイベント

観光客のニーズに応えるため、夏ならではの茶会をはじめ、参加体験型のイベントを実施した。

① 京都・中川「北山杉の里」と涼風の高雄探訪

開催期間 8月27日、28日

参加人数 76人

② 京都・大原探訪

開催期間 7月2日～9月25日の土・日・祝

参加人数 100人

③ 高台寺「秋の夜の観月茶会」

開催期間 9月9日～25日の金・土・日

参加人数 524人

④ 「京の七夕」事業(実績等詳細は 28～29 ページに掲載)

(7) “都の賑い”事業への協力

京都花街組合連合会、京都伝統伎芸振興財団主催の6月恒例のイベントとして定着した“都の賑い”「京都五花街合同公演」の誘致宣伝に努めた。

開催日 6月25日・26日

(8) 誘致宣伝展開

① 誘致宣伝ポスター、パンフレットの作成、掲出配布

「京の夏の旅」ポスター、パンフレットを作成し、全国のJR主要駅や京阪、阪急、阪神、近鉄、南海の関西私鉄各社、京都市交通局、主要旅行会社等へ掲出配布した。その他、JR各社、大手旅行会社の協力を得て、夏の京都旅行商品パンフレットにキャンペーンイベントを掲載した。

《ポスター》 計 18,265 枚

○ 駅貼 (B1・9種 / B2・4種)

○ 車内吊り (B3・3種)

《パンフレット》

○ 京の夏の旅 イベントガイドブック 400,000 部

○ 京の夏の旅 ダイジェスト版リーフレット (3種) 50,000 部

○ 定期観光バス 春夏号 470,000 部

《その他》

○ 京都市営地下鉄車内横枠広告 270 枚

○ 京都市営地下鉄指詰ステッカー 560 枚

② マスコミ媒体等による誘致宣伝

全国主要地区のテレビ・新聞・雑誌等のマスコミに対して、取材協力の要請を行うとともに、「京の夏の旅」の試乗取材会を開催するなど、キャンペーンイベントの記事掲載のための誘致宣伝に努めた。取材報道等の実績は以下のとおり。

《テレビ・ラジオ》

- テレビ大阪「おとな旅 あるき旅」
- 読売テレビ放送「クチコミ新発見！旅ぷら」
- 毎日放送「VOICE」
- 中国放送「d ポン データ放送」

《新聞》

京都新聞／朝日新聞／読売新聞／週刊観光経済新聞／北日本新聞／静岡新聞／福井新聞／北國新聞／長野日報／高知新聞／きょうと市民新聞／陸奥新報／西日本新聞日刊ゲンダイ／スポーツニッポン／

《雑誌》

「婦人画報」／「ノジュール」／「ひととき」／「歩く地図」 ほか

《その他》

当協会ホームページをはじめ、京都観光 Navi、月刊観光情報誌「京ごよみ」、京都市広報紙、私鉄情報誌などでの情報掲載等による情報発信を実施した。

③ JR各社・旅行会社への宣伝販売促進要請

JR各社および主要旅行会社に対して、宣伝販売促進を依頼するとともに、定期観光バスについては、JRグループの端末による販売を行った。

④ 試乗取材会等の開催

- 「京の夏の旅」オープニングセレモニー

「京の夏の旅」特別公開対象箇所であるノートルダム女学院中学高等学校 和中庵において、琴の演奏等、オープニングイベントを開催し、マスコミ各社への広報並びに関係機関への事業協力の要請を行った。

開催日 7月6日

会場 ノートルダム女学院中学高等学校 和中庵

- 「京の夏の旅」定期観光バス特別コース試乗取材会

主要都市の新聞社等マスコミ各社、JRや関西私鉄各社等関係機関を招き、定期観光バス特別コースの試乗取材会を実施した。

開催日 7月8日

出席者数 マスコミ、JR、関西私鉄、旅行会社、ホテル、旅館など約  
120人

## 2 「京の冬の旅」キャンペーンの実施

冬季観光客誘致事業として取り組んでいる「京の冬の旅」キャンペーンは、JRグループ6社共同によるデスティネーションキャンペーンとして全国規模での誘致宣伝、販売活動を行った。平成29年の大政奉還150年をメインテーマに掲げ、幕末・大政奉還ゆかりの寺院をはじめとする14か所の非公開文化財特別公開や定期観光バス特別コースの運行、関連イベントの実施に取り組んだ。さらに、京の歴史文化に培われた「伝統産業・文化」、昼間とはひと味違った観光を楽しむ「朝観光・夜観光」、豊かな食材と伝統の技を楽しむ「京の食文化」等、様々な切り口から幅広い層の観光客に京の冬を楽しんでもらえるよう多彩なイベントを企画実施した。

また、JRグループ6社をはじめ、関西私鉄各社、京都市交通局、旅行会社各社等、関係機関との密接な連携のもと、誘致宣伝の強化や旅行商品化の促進に努めた。

### (1) 第51回「京の冬の旅」非公開文化財特別公開

「大政奉還150年記念」をテーマに、普段見ることのできない建築、庭園、襖絵など、14か所の文化財を特別公開した。拝観者数の合計は、対前年度比107%の374,514人で、過去最多であった平成20年度に次ぐ2番目となる記録となった。1日当たりの平均拝観者数においても対前年度比102%となった。

公開期間 1月7日～3月18日（一部異なる）

公開箇所 金戒光明寺／金戒光明寺西翁院／聖護院／知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園／建仁寺久昌院／西福寺／高台寺／妙法院／壬生寺本堂・狂言堂／島原角屋／妙心寺 大庫裏・経蔵／妙心寺大雄院／妙心寺養徳院／東寺 五重塔

拝観者数 374,514人

### (2) 第51回「京の冬の旅」京都定期観光バス特別コース

1月から3月の期間、「うるわし」「みやび」「やすらぎ」「あじわい」の定番の4コースに、今年度新たに設定した「夜のコース」を加え、「朝のコース」や学びの要素が詰まった「大人の修学旅行コース」を設定し、観光客の幅広いニーズに対応した特別コースを運行した。特別コース合計の乗車人数は11,311人で、対前年度比91%となったが、定番の4コースでは、合計10,649人と対前年度比98%で、ほぼ前年度並みの実績となった。各コースの実績は以下のとおり。

コース名	運行期間	対象箇所	乗車人数
うるわし	1月7日～ 3月18日	元離宮二条城／京都御所／金戒光明寺／二条城売店（喫茶）／西陣魚新（昼食）	2,613人



みやび	1月20日 ～3月18 日	知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園／聖護院／ 妙法院／島原角屋／いもぼう平野家本家（昼 食）	2,829人
やすらぎ	1月7日～ 3月18日	建仁寺久昌院／西福寺／妙心寺 大庫裏・経蔵 ／妙心寺大雄院／阿じろ（昼食）	2,894人
あじわい	1月7日～ 3月18日	竹茂楼又は六盛（京料理）／打田漬物（京漬 物）／湯葉弥（京ゆば）／甘春堂（京菓子） ／高台寺	2,313人
冬の朝の特別 拝観 坐禅と 朝ごはん	3月4日、 5日、11 日、12日	大徳寺大慈院／大徳寺 本坊／壬生寺 本堂・ 狂言堂／泉仙（昼食）	134人
おとなの京都 学びの旅	2月10日、 11日、17 日、18日	下鴨神社／旧三井家下鴨別邸／建仁寺霊源院 ／さるや（茶菓）／祇園さゝ木（昼食）	132人
夜の特別公開 新選組ゆかり の島原角屋・ 壬生寺	2月17日、 18日、24 日、25日	壬生寺 本堂・狂言堂／島原角屋／神泉苑平八 （夕食）	187人
京のお雛さま と平安王朝の 雅の世界	2月25日 ～3月12 日	宝鏡寺／時雨殿／さがの人形の家／鶴屋吉信 （茶菓）／泉仙嵯峨野店（昼食）	209人

### （3） 京の冬の旅スタンプラリー

特別公開箇所を 3 か所巡るとお茶とお菓子で一服できるスタンプラリーを実施した。

参加人数 21,887人

### （4） 京都「千年の心得」（実績等詳細は 21～22 ページに掲載）

### （5） 京の冬の食文化キャンペーン「食遊菜都 2017・冬」

（実績等詳細は 23 ページに掲載）

(6) 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」(実績等詳細は 23～24 ページに掲載)

(7) 「大政奉還 150 年」記念イベント

- ① 坂本龍馬没後 150 年 河原町周辺ウォーキング  
～坂本龍馬と桂小五郎ゆかりの地を訪ねて～  
開催日 3 月 11 日  
参加人数 40 人
- ② 商店街の魅力発見プラン 京都三条会商店街ぶらり歩き  
～京都最大アーケードの老舗商店街を訪ねて～  
開催日 1 月 26 日、2 月 23 日、3 月 16 日  
参加人数 63 人
- ③ 京都ぐるり「大政奉還 150 年記念 二条城と幕末の史跡をぐるり」  
開催日 1 月 28 日、2 月 11 日・25 日、3 月 11 日・25 日  
参加人数 76 人
- ④ 京都ぐるり「大政奉還 150 周年記念 幕末新選組コース」  
開催日 2 月 4 日・18 日、3 月 4 日・18 日  
参加人数 29 人

(8) 京の冬の旅キャンペーンイベント

- ① 高台寺「夜咄」(夜のお茶会)  
名利高台寺で冬の夜のひとときを楽しむお茶会  
開催期間 1 月 13 日～3 月 5 日の金・土・日  
参加人数 1,345 人
- ② 西陣・千両ヶ辻ウォーキング  
開催日 1 月 28 日、2 月 4 日・10 日・16 日・21 日・25 日、3 月 4 日・  
7 日・10 日・19 日  
参加人数 79 人
- ③ 瓢亭十四代当主高橋英一氏の料理教室と輪違屋見学・島原太夫による舞と  
胡弓の演奏  
開催日 2 月 17 日、3 月 17 日  
参加人数 64 人
- ④ 第 38 回「京都名流いけばな展」  
いけばな圏<京都>16 流派により入洛客を歓迎するいけばな展を実施  
した。  
開催期間 1 月 24 日～3 月 5 日  
会場 JR 京都駅 新幹線コンコース
- ⑤ 京都・花灯路事業(実績等詳細は 29 ページに掲載)
- ⑥ みやこ学び旅 2017 ～大学のまち・京都・特別文化講座～<新規事業>

開催期間 3月11日～17日  
会場 座学講座：平安女学院大学  
課外講座：「京の冬の旅」特別公開寺院等  
参加人数 758人

- ⑦ その他、キャンペーン協賛の市内観光施設での体験イベント、宿泊施設でのプレゼント等を実施。

#### (9) 「京の冬の旅」キャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催

JRグループ6社および全国の主要旅行会社の商品造成担当者、宣伝担当者を招き、京都デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議を開催し、旅行商品の設定および宣伝販売促進を要請した。

開催日 平成28年3月14日・15日  
会場 ホテルグランヴィア京都  
出席者 約400名

#### (10) 京都デスティネーションキャンペーン実行委員会による活動

京都市と共同で京都デスティネーションキャンペーン実行委員会を組織し、テレビCMや誘致ポスターの制作等、京の冬の旅キャンペーンのPRを促進した。

#### (11) 誘致宣伝展開

##### ① 誘致宣伝ポスター、パンフレットの作成・掲出配布

「京の冬の旅」キャンペーンポスター、パンフレットを作成し、全国のJR主要駅をはじめ、京阪、阪急、近鉄、南海、阪神の関西私鉄各社、京都市交通局、主要旅行会社等で掲出配布した。その他、JR各社、大手旅行会社の協力を得て、冬の京都旅行商品パンフレットにキャンペーンイベントを掲載した。

《地元制作ポスター・車内広告》 計 25,240 枚

- JR 駅貼 (B1・5枚組)
- JR・私鉄・京都市及び三都市交通局駅貼 (B1・8種)
- 私鉄駅貼 (B2・4種)
- JR・三都市交通局・近鉄・京阪バス (B3・4種)
- 地下鉄横枠広告
- 地下鉄指詰めステッカー

《JRグループ制作ポスター》 計 131,634 枚

- JR 駅貼 (B0・4種)
- JR 車内吊り (B3・4種)
- JR 車内額貼 (B3×4サイズ・3種)
- JR 車内額貼 (B3×2サイズ・3種)
- JR 車内ドア上 (変形・2種)

《パンフレット》

○「京の冬の旅」イベントガイドブック	<u>1,000,000 部</u>
○「京の冬の旅」ダイジェスト版リーフレット	<u>43,510 部</u>
○「京の冬の旅」スタンプラリー	<u>177,500 部</u>
○京都定期観光バス 秋冬号	<u>450,000 部</u>
○非公開文化財特別公開ガイドブック	<u>20,000 部</u>

《その他》

○京都マラソン 大会公式プログラムへの広告出稿	<u>21,000 部</u>
-------------------------	-----------------

② マスコミ媒体等による誘致宣伝

全国主要地区のテレビ・新聞・雑誌等のマスコミに対して、取材協力の要請を行うとともに、「京の冬の旅」のオープニングイベントや試乗取材会を開催するなど、キャンペーンイベントの記事掲載のための誘致宣伝に努めた。取材報道等の実績は以下のとおり。

《テレビ・ラジオ》

- テレビ大阪「おとな旅 あるき旅」
- 読売テレビ放送「クチコミ新発見！旅ぷら」
- 関西テレビ「ゆうがたL I V Eワンダー」
- NHK京都放送局「ニュース 630 京いちにち」、「ぐるっと関西おひるまえ」
- BS日テレ「ぶらぶら美術博物館」
- KBS京都「news フェイス」
- BS朝日「京都ぶらり歴史探訪」

ほか

《新聞》

京都新聞／朝日新聞／読売新聞／信濃毎日新聞／山陽新聞／山形新聞／  
陸奥新報／高知新聞／交通新聞／静岡新聞／  
日刊ゲンダイ／スポーツニッポン ほか

《雑誌》

ジパング倶楽部事務局「ジパング倶楽部」／宇治田原製茶場「月刊茶の間」  
／京阪神エルマガジン社「SAVVY」／ハースト婦人画報社「婦人画報」／  
白川書院「月刊京都」／JTBパブリッシング「ノジュール」／文藝春秋「C  
R E A」 ほか

《その他》

- 旅行雑誌「別冊旅の手帖」京の冬の旅号発行（6万部）
- JR時刻表（12月～3月）でキャンペーンイベントのPR
- JRジパング倶楽部会員誌で特集記事掲載
- 当協会ホームページをはじめ、京都観光 Navi、月刊観光情報誌「京ごよみ」、京都市広報紙、私鉄情報誌等での情報掲載等による情報発信を実施し

た。

③ JR各社・旅行会社への宣伝販売促進要請

JR各社および主要旅行会社に対して、宣伝販売促進を依頼するとともに、定期観光バスについては、JRグループの端末による販売を行った。

④ 試乗取材会等の開催

○ 京都デスティネーションキャンペーン「京の冬の旅」オープニングイベント

「京の冬の旅」キャンペーンの宣伝並びにJRや関西私鉄各社等関係機関とのさらなる連携強化に向け、京都デスティネーションキャンペーン「京の冬の旅」のオープニングイベントをJR西日本と京都市とともに実施した。

「京の冬の旅」非公開文化財特別公開対象箇所の一つである壬生寺において、オープニング式典を行い、キャンペーンの幕開けを祝して壬生六斎念仏を奉納、マスコミ各社への広報並びに関係機関への事業協力の要請を行った。

開催日 1月13日

会場 壬生寺

○ 「京の冬の旅」定期観光バス特別コース試乗取材会の開催

主要都市の新聞社等マスコミ各社をはじめ、JRや関西私鉄各社等関係機関を招き、定期観光バス特別コースの試乗取材会を実施した。

開催日 1月6日

出席者数 マスコミ、JR、関西私鉄、旅行会社、ホテル、旅館等約120人

○ 関係機関との連携事業

「京の冬の旅」キャンペーンをPRするため、京都市交通局と連携し、舞妓による観光パンフレットの配布など、冬の京都への観光誘致宣伝に努めた。

\*京都市交通局との連携事業

「Kotochika クリスマスイベント」において、「京の冬の旅」PRを行った。

開催日 12月17日

会場 京都市営地下鉄京都駅コトチカ広場

### 3 京都の奥深い魅力に触れる 京都「千年の心得」事業の実施

平成21年度より実施している京都「千年の心得」事業では、新たなテーマ「京の伝統産業・文化」「京の朝観光・夜観光」「京の食文化」に重点を置いた観光プランを企画設定し、旬の観光素材を活用した通年型の情報発信を行うなど、京都ならではの

奥深い上質な魅力に出会うことのできる厳選された観光プランを京都市と共同で企画し、実施した。中でも特に開館前の施設での特別見学や社寺での早朝拝観や体験といったイベントを多数企画し、昼間とはひと味違った観光を楽しむ「朝観光」の充実を図った。また、JRや旅行会社各社で企画したイベントも合わせて誘致宣伝に努めた。

**(1) 京都「千年の心得」 7月～9月実施 計 651人**

- ① 冷茶で涼やかな夏を！祇園祭特別お茶講座と茶フレンチの昼食
- ② 小丸屋住井十代目女将の京丸うちわ製作体験
- ③ 大覚寺不動明王「ご法縁結び式」
- ④ 旧嵯峨御所大本山大覚寺で平安の香り体験～お香（薫物）に親しむ～
- ⑤ 開館前にゆったり鑑賞！細見美術館 館長の解説で巡る伊藤若冲展＜朝観光＞
- ⑥ 早起きは三文の得！国指定名勝 東福寺本坊庭園 早朝特別拝観＜朝観光＞
- ⑦ 高台寺 ～着物ショーと佐々木酒造の日本酒をたしなむ夕べ～＜夜観光／京の食文化＞
- ⑧ 京都の禅寺で坐る 夜坐体験＜夜観光＞

**(2) 京都「千年の心得」 1月～3月実施 計 583人**

- ① 能楽金剛流特別企画 能楽入門 幽玄の世界を体験 ～金剛流～
- ② 書家 川尾朋子による、「平成 29 年をともに過ごす一文字を見つけ出そう」
- ③ 旧曼舟邸でのお茶会体験と嵐山よしむらの蕎麦懐石を味わう
- ④ 大覚寺不動明王「ご法縁結び式」
- ⑤ 旧嵯峨御所大本山大覚寺で平安の香り体験～お香（薫物）に親しむ～
- ⑥ 魚三楼九代目当主 荒木稔雄が語る、幕末の動乱を経た伝統の味と品格＜京の食文化＞
- ⑦ 早起きは三文の得！北野天満宮と大將軍八神社正式参拝＜朝観光＞
- ⑧ 早起きは三文の得！建仁寺霊源院で坐禅体験と甘茶粥の朝食＜朝観光＞
- ⑨ 早起きは三文の得！旬の京野菜食べくらべと京野菜のせり見学＜朝観光／京の食文化＞
- ⑩ 佐々木酒造の酒蔵見学と新酒を楽しむ＜京の食文化＞

**(3) 京都・文化体験ガイド「京のたしなみ帖」ホームページの運営**

京都「千年の心得」の一環として、京都・文化体験ガイド「京のたしなみ帖」ホームページによる工芸制作や着付け体験、寺社体験等のプランを紹介した。

○PCサイト <http://www.tashinami.com>

○携帯サイト <http://www.tashinami.com/mb/>

#### 4 「京の食文化」をテーマとした観光キャンペーン「食遊菜都」の実施

観光の大きな楽しみの一つである“食”をテーマにした京の食文化キャンペーンを引き続き実施、「京の夏の旅」「京の冬の旅」と連動して、京料理をはじめとした京の味覚と京都スタイルの「食」の楽しみ方を発信する特別プランを企画実施し、京都の“食”のPRと観光客の誘致推進に努めた。

##### (1) 食遊菜都 2016・夏 7月～9月実施 計 668人

- ① 瓢亭十四代当主高橋英一が語る京料理の心
- ② 観覧席で見る祇園祭（前祭・後祭）と京料理
- ③ 美濃吉本店竹茂楼で味わう京懐石と和食マナー講座
- ④ 夏の醍醐寺拝観・写経体験と雨月茶屋の醐山料理
- ⑤ 京の五花街お茶屋遊び
- ⑥ 元お茶屋「津田楼」で舞妓さんといただくランチ
- ⑦ 食遊懐石（萬亀楼／六盛）

##### (2) 食遊菜都 2017・冬 1月～3月実施 計 646人

- ① 春を待つ「弥生の茶会」
- ② 京の五花街お茶屋遊び
- ③ 醍醐寺「五大力尊仁王会」前行参座と雨月茶屋でのご昼食
- ④ 妙心寺非公開文化財公開と精進料理「妙花膳」
- ⑤ 嵐山屋形船でほっこり地酒と湯豆腐
- ⑥ 元お茶屋「津田楼」で舞妓さんと楽しむランチ
- ⑦ 食遊懐石（錦／萬重／魚三楼）

#### 5 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」事業の実施

平成23年度より取り組んでいる京都の伝統文化、伝統工芸の魅力を体感するキャンペーンとして京都市の協力のもと、JR西日本と共同で実施し、さらなる観光客の誘致推進に努めた。

##### (1) 京のたしなみ 7月～9月実施 計 123人

- ① 箱職人と作る貼箱体験
- ② 京都を感じるアクセサリ作り
- ③ 自分だけの京組紐 手組み体験
- ④ 色鮮やかさが魅力の、交趾色絵付け

(2) 京のたしなみ 1月～3月実施

計 127 人

- ① 清水焼の窯元・蘇隆窯で作る 自分だけの器作り
- ② 箱職人とつくる貼箱体験
- ③ 創業200年を超える京老舗の若職人が教えるミニ提燈づくり
- ④ 自分だけの京組紐 手組み体験

6 特別企画事業の実施

(1) 春季・秋季 観光客誘致受入事業

春季・秋季の観光客誘致受入事業として、「金戒光明寺」「宝鏡寺」「霊鑑寺」「旧三井家下鴨別邸」の特別公開を実施した。

実施に当たっては、阪急電鉄と連携したポスターを作成するとともに、秋季は特別公開のポスターを作成し、JR西日本、京阪、阪急、近鉄の関西私鉄各社、京都市交通局で掲出した。また、世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン 2016」(9月22日～25日 東京ビッグサイト)にJR東海と共同で観光ブースを出展し「秋の特別公開」を中心とした京都のPRを行うとともに、旅行会社等との商談も行った。

公開箇所	金戒光明寺／宝鏡寺／霊鑑寺／旧三井家下鴨別邸		
公開期間	春季 霊鑑寺	3月26日～4月10日	
	秋季 金戒光明寺	11月1日～12月4日	
	宝鏡寺	11月1日～30日	
	霊鑑寺	11月19日～12月4日	
	金戒光明寺ライトアップ	11月12日～27日	
	旧三井家下鴨別邸	11月19日～12月4日	
	春季・秋季 合計拝観者数		80,968人

(2) 春の京都 禅寺一斉拝観

「臨済義玄禅師 1150年・白隠慧鶴禅師 250年遠諱」を記念して京都国立博物館で開催された特別展「禅 一心をかたちの一」(平成28年4月12日～5月22日)の展覧期間にあわせ、臨済宗黄檗宗連合各派合議所および公益財団法人禅文化研究所との共催で「春の京都禅寺一斉拝観」事業を実施した。京都市内を中心に、本山をはじめとした臨済宗黄檗宗寺院において、通常非公開の寺院や寺宝の特別公開、坐禅会や写経体験・法話などの特別なイベントが実施され、当協会では9箇所の文化財特別公開を行った。

公開箇所	建仁寺 開山堂／東福寺 法堂・禅堂／東福寺退耕庵／ 大徳寺 法堂・唐門／大徳寺玉林院／真如寺／相国寺 法堂・方丈／ 妙心寺 三門／龍安寺 蔵六庵と「龍頭龍尾図」
------	--



公開期間 4月12日～5月22日（一部異なる）

拝観者数 53,896人

## 7 修学旅行受入対策の推進

### (1) 修学旅行相談業務

平成28年に開設した京都市河原町三条観光情報コーナー窓口にて修学旅行相談に対応し、下見で訪れた学校関係者に資料提供や相談業務を行った。資料提供についてはインターネットでの依頼が増加し、窓口での提供は年々減少傾向にある。

平成28年度利用件数 452件（平成27年度 527件）

### (2) 修学旅行パスポート事業の推進

京都を挙げての修学旅行受入対策の一環として、平成10年より実施している修学旅行パスポート事業について、会員の協力を得て、優待内容の充実を図るとともに、誘致受入対策として、全国の学校関係者、旅行会社等にPRし、活用を促進した。

#### ① 優待協賛施設の充実

社寺・観光施設・食事・買物施設などへ協力要請を行い、パスポート協賛施設の充実を図った。

平成28年度協賛施設数 350施設（平成27年度 346施設）

#### ② インターネットによる情報発信

パスポート事業の内容をインターネットで発信するとともに、京都観光Navi、きょうと修学旅行ナビや当協会ホームページ等のリンクにより、修学旅行に役立つ観光情報を発信した。

## 8 国際観光客誘致受入の強化

### (1) 京都市、京都文化交流コンベンションビューローのインバウンド事業への参画

京都市、京都文化交流コンベンションビューローが創設し運営する京都市認定通訳ガイド「京都市デジタルズホスト」について、両者と連携し広報活動を行ったほか、平成29年に大政奉還150年を迎える二条城において、近畿運輸局からの受託事業として「京都市認定通訳ガイドを活用した元離宮二条城ツアーの実施に向けた調査等事業」を行った。

○一般向けモニターツアー 開催回数 10回 参加人数 112人

○プレミアム向けモニターツアー 開催回数 5回 参加人数 30人

また、インバウンドを対象とした調査の広報活動について連携して実施したほか、三大祭では英語解説付き観覧席券のインターネット販売を実施し、外国人観光客への利便性の向上を図った。

○平成28年度販売席数 葵祭 103席 祇園祭 90席 時代祭 127席  
(平成27年度 86席)

## (2) 海外有力プレス関係者等招請京都委員会への参画

京都府、京都市、京都府観光連盟とともに海外有力プレス関係者等招請京都委員会に参画し、世界各国の有力プレス関係者等を対象にした招請事業を実施した。

## (3) 多言語観光情報誌の発行支援と配布

外国人観光客の利便を図り、誘致宣伝に努めるため、英文の月刊情報誌「キョートビジターズガイド」(1万6千部)、中国語版(簡体字・繁体字)・ハングル版の季刊情報誌「きょん」(各5千部)の発行を支援し、京都総合観光案内所などで配布した。

## (4) 観光地図「KYOTO CITY MAP」の配布

会員より協賛広告を受け、外国人観光客向けに作成している英語版、中国語版(簡体字版・繁体字版)・ハングル版の観光地図を配布した。

## (5) 音声観光ガイドの配信

iPhoneやiPod等を活用した音声観光ガイド英語10コースを引き続き配信し、音声・地図ともにどこからでも事前に入手できるようにした。

## (6) 多言語ホームページ「KYOTO-MAGOnoTE」の運営(再掲)

## (7) ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)の活用

facebook ページにて、最新の京都情報のほか、ウォーキングツアーを楽しむ外国人観光客の姿を発信した。

facebook ページ 「Like!Kyoto」 いいね!1,695件

「Walking Tour in Kyoto」 いいね!1,554件

## (8) 動画情報の発信

YouTube を活用し、当協会会員の施設情報、年中行事、季節の情報等「いまのKYOTO」を伝える「Lively Kyoto」事業として動画を配信した。

## (9) 京都の旅の提案

### ① 「京料理と舞妓の夕べ」の開催

料理旅館において、京料理と舞妓を外国人観光客が手軽に体験できるイベント「京料理と舞妓の夕べ」を開催した。

実施回数 121回 2,491人 (平成27年度 106回実施 2,077人)

②外国人観光客向けウォーキングツアーの実施

外国人観光客に人気の「祇園ウォーキングツアー」、「嵯峨野ウォーキングツアー」を継続実施した。(事業実績は28ページに掲載)

③「Kyoto Recommends」の発行(再掲)

## 9 MICE 戦略の取り組み

京都で開催される MICE において、歓迎とおもてなしの観点から、京都市、京都文化交流コンベンションビューロー等と共同で、京都開催の魅力を向上させた。

## 10 まちなか観光の企画推進 — 「歩くほどに奥深い京都」

「歩くほどに奥深い京都」をキャッチフレーズに、公共交通機関の活用を取り入れた歩く観光を提唱し、交通渋滞の緩和はもとより、観光客の足をまちなかや商店街へと向け、美しい町並みや買い物、体験や人々との交流を楽しむ「面の観光」へとする仕掛けの強化を図った。

### (1) 音声観光ガイドの配信

スマートフォンや iPod 等を活用し、魅力ある散策ルートを設定し、ガイドブックには載らない歴史や由緒を紹介する音声観光ガイドを、日本語 26 コース、英語 10 コースを配信した。

### (2) 京都エリアウォーク「京都ぐるり」の実施

公共交通の利用促進を図り、出発地点を地下鉄の駅とし、市民ガイドが説明をするウォーキングツアーとして、地域の隠れた魅力とオリジナリティを高める京都エリアウォーク「京都ぐるり」を実施した。

なお、今年度は大政奉還 150 年を記念した特別コースを新たに企画し、「二条城と幕末の史跡をぐるり」「幕末新選組コース」を実施した。

#### ○コース

・鳥羽離宮ゆかりの史跡をぐるり(竹田駅)	4回	60人
・深草の歴史と史跡ぐるり(くいな橋駅)	4回	47人
・平安京の玄関と弘法大師ゆかりの地ぐるり(九条駅)	4回	78人
・新選組ゆかりの地と本願寺周辺をぐるり(京都駅)	4回	75人
・上賀茂神社と社家町ぐるり(北大路駅)	4回	90人
・太秦の史跡ぐるり(太秦天神川駅)	4回	70人

・平安宮と源氏物語ゆかりの地ぐるり（二条駅）	4回	72人
・二条城周辺の史跡をぐるり（二条城前駅）	4回	70人
・高瀬川と坂本龍馬ゆかりの史跡ぐるり（三条京阪駅）	4回	79人
・岡崎と疏水関連遺産ぐるり（東山駅）	4回	60人
・散歩道 山科疏水沿いの史跡ぐるり（御陵駅）	4回	95人
・忠臣蔵 大石内蔵助ゆかりの史跡ぐるり（柳辻駅）	4回	73人

計 48回 869人

（平成 27 年度 48 回実施 793 人）

○大政奉還 150 周年記念特別コース

・二条城と幕末の史跡をぐるり（二条城前駅）	5回	76人
・幕末新選組コース（京都駅）	4回	29人

計 9回 105人

**(3) 外国人観光客向けウォーキングイベントの実施**

平成 19 年度より実施している外国人観光客向けの英語のガイドによる祇園ウォーキングツアーおよび竹林や街並み保存地区を取り入れた嵯峨野ウォーキングツアーを引き続き実施した。

○祇園ウォーキングツアー 週 3 回（月・水・金） 夕方実施

実施回数 155 回 参加人数 4,250 人（平成 27 年度 4,515 人）

○嵯峨野ウォーキングツアー 週 1 回 木曜実施

実施回数 39 回 参加人数 93 人（平成 27 年度 148 人）

**1 1 新たな観光素材の発掘と活用**

京都ならではの観光素材を新たに発掘して全国に情報発信し、リピーターの確保を図るため、新たな観光素材を秘める地域観光の推進（平成 28 年度は、夏は中川エリア、冬は二条城・壬生エリア）、京都が誇る歴史文化をたどる観光の振興や京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用した京の食をテーマとしたイベントのほか、新緑が美しい初夏の「青もみじ」や紅葉が色付く前の初秋の「観月」にもスポットをあて、宣伝活動を展開した。

また、琵琶湖疏水船下り実行委員会に参画し、春秋の試行事業にあたって、広報宣伝活動等に取り組んだ。

**1 2 「京の七夕」事業の実施**

オール京都で組織する「京の七夕」実行委員会に参画し、京都の新たな夏の風物詩

として定着させるべくより一層の宣伝PRに努め、市内の社寺や観光施設などの協力を得て実施した。

7回目の今回は、これまでの堀川・鴨川会場に、新たに北野天満宮・北野紙屋川会場、二条城会場、梅小路公園会場、岡崎会場、京都府立植物園会場の5会場を加え、開催会場、開催期間の拡充を行い、市内各所で特色のある七夕イベントを実施した。その結果、7会場で合わせて85万人を超える来場者数を記録した。

開催期間 8月1日～21日 21日間  
来場者数 853,000人（平成27年度 762,000人）

### 1.3 京都・花灯路事業の実施

京都の年中行事として定着した京都・花灯路事業は、12月の嵐山・花灯路で12回目、3月の東山・花灯路で15回目を迎え、当協会も京都市、京都府、京都商工会議所、京都仏教会、京都文化交流コンベンションビューローと共に構成団体の一翼を担い実施に当たった。

嵐山花灯路では、新たに「嵐山ご当地キャラスタンプラリー」を実施するなどし回遊性を高めた。また、東山花灯路では、池坊専好次期家元による『いけばなライブ』など「花」をテーマとした15回記念事業を実施し、両期間とも、冷え込みの厳しい日が多かったが、いずれも盛況を博した。

#### ○京都・嵐山花灯路—2016

開催期間 12月9日～18日 10日間  
来場者数 1,193,000人（平成27年度 1,393,000人）

#### ○京都・東山花灯路—2017

開催期間 3月3日～12日 10日間  
来場者数 1,110,000人（平成27年度 1,165,000人）

### 1.4 三大祭観覧席設置事業および伝統行事等の執行支援

#### (1) 三大祭観覧席設置事業と宣伝販売促進

葵祭・祇園祭山鉾巡行・時代祭の京都三大祭当日に有料観覧席を設置し、観光客の快適さ、利便性および京都の魅力を伝えるとともに、旅行会社等へのセールス活動やマスコミ機関等への報道要請を行った。また、平成27年の時代祭に続き、葵祭、祇園祭でも英語解説付き観覧席を設置し、外国人観光客への利便性の向上を図った。

なお、祇園祭後祭については、有料観覧席の販売そのものや、花傘行列巡行時のにぎわいの創出について課題が残った。

○三大祭有料観覧席販売実績

葵祭	9,986 席	(平成 27 年度 8,600 席)
祇園祭前祭	13,848 席	(平成 27 年度 11,711 席)
祇園祭後祭	2,413 席	(平成 27 年度 2,329 席)
時代祭	11,486 席	(平成 27 年度 8,786 席)

(2) 四大行事等の執行支援

京都五山送り火を加えた京都四大行事について、協賛会事務局の運営を担い、募金活動等を行ったほか、安定した執行および保全を図るために補助金を交付した。

また、主な伝統行事や観光行事に対しても補助金を交付した。

1.5 京都さくらよさこいの実施

「学生の力で京都を活性化し、元気づける」を通年のテーマに据え、春の観光客誘致、地域の活性化を目的として、「第 12 回京都さくらよさこい」を実施した。

開催日 4月2日(土)・3日(日)  
会場 梅小路公園、岡崎公園周辺など

1.6 元離宮二条城を舞台にした各種イベントへの事業協力等

(1) 二条城イベント賑わい創出事業

元離宮二条城において「二条城ライトアップ」事業への協力、「二条城まつり」事業等を受託し、ポスター、リーフレット、ホームページなどの媒体による宣伝活動を行い、二条城への誘客に努めた。また、イベントを盛り上げるため、京の老舗名産品展を開催した。

○二条城ライトアップ 2016	平成 28 年 3 月 25 日～4 月 17 日
○二条城まつり 2016	10 月 23 日～12 月 11 日
○京の七夕：「京の老舗名産品展」	8 月 6 日～15 日
○二条城まつり 2016：「京の老舗名産品展」	10 月 23 日～11 月 27 日
○二条城桜まつり 2017：「京の老舗名産品展」	平成 29 年 3 月 24 日～4 月 16 日

## (2) 二条城タイアップ共催事業

秋の特別企画 豊臣×徳川 ー歴史の舞台をいま巡るー

二条城、醍醐寺と共催で、世界遺産「二条城」「醍醐寺」を巡る期間限定の特別メニューを楽しむ秋の特別企画として実施した。

醍醐寺では、普段ご覧いただけない三宝院純浄観の特別公開や寺宝の展示、二条城では徳川ゆかりの歴史解説や障壁画松鷹図前での特別記念撮影等、魅力ある内容を盛り込んだ共同チケットを京都市交通局の事業協力のもと、販売を行った。

○実施期間：平成 28 年 10 月 15 日～11 月 20 日

○販売枚数：513 枚

## 1 7 オール京都の観光振興会議の運営

平成 18 年にオール京都により設立された京都観光振興会議の事務局を引き続き務め、府市連携による広域観光の推進をはじめとした、オール京都の協力体制強化について活発な意見交換や協議を行った。

## 1 8 J R 京都駅“歓迎いけばな”の運営

入洛観光客を花で迎える J R 京都駅構内の“歓迎いけばな”を、いけばな園<京都>の協力により引き続き運営した。

## III. 入洛観光客に対する案内事業 (公益目的事業会計)

### 1 京都総合観光案内所「京なび」の受託運営

J R 京都駅ビル 2 階の京都総合観光案内所「京なび」の運営業務を同運営協議会より受託し、年中無休で午前 8 時 30 分から午後 7 時まで、年間 82 万人の相談者に対し各種観光案内、宿泊紹介や交通案内に伴う乗車チケットの提供業務等を行った。

相談者のおよそ半数(49.2%)を占める外国人観光客には京都市内の案内業務にとどまらず、日本全域の観光案内・情報発信を、多言語・ワンストップで行った。

また秋の紅葉シーズンおよび春の桜シーズンの休日には「京なび」混雑緩和の取組として、J R 京都駅前広場に臨時観光案内所を開設し、秋・春の 9 日間あわせて 26,558

人の観光客の利用があった。

○京都総合観光案内所	平成 28 年度相談者数	820,888 人
	(27 年度)	854,272 人)
	(26 年度)	810,554 人)
	自動カウント機による来所者概数	1,541,446 人

○臨時観光案内所（京都駅ビル前広場）

平成 28 年 4 月	2 日間開設	8,839 人
11 月	5 日間開設	12,331 人
29 年 3 月	2 日間開設	5,388 人

## 2 京都市河原町三条観光情報コーナーの受託運営

京都市より受託し平成 28 年 4 月に開設した京都市河原町三条観光情報コーナーにおいて、内外の観光客に対して観光情報や資料の提供等を行った。機能面として単に観光案内だけではなく、多目的スペースを設け、授乳・おむつ交換、礼拝等に対応した。また、修学旅行相談所としての機能ももたせ、多くの学校関係者の下見等の対応を行い、資料提供を行った。

さらに 12 月からは株式会社ぐるなびと連携し、「ぐるなび情報ラウンジ」を開設し、内外の観光客の飲食面の相談に応じ、協会会員の飲食施設を中心に個店の紹介を行った。

○京都市河原町三条観光情報コーナー	平成 28 年度 来所者	39,639 人
	電話対応	44,221 件
	ぐるなび情報ラウンジ 相談者数	456 人
	(28 年 12 月～) 紹介店舗数	1,441 件

## 3 民間案内所との連携

京都市内の観光案内所運営団体が参画する「京都市内観光案内所ネットワーク会議」（27 団体参画）を京都市とともに開催した。市内全体の観光案内機能向上を目指して、京都総合観光案内所を中心とした各案内所間の情報共有や課題解決に向けた意見交換、研修会を行った。

10 月 25 日 ネットワーク会議 ワークショップ開催（課題等）



2月21日 研修会開催 観光案内の英語表現

また、京都総合観光案内所の立地する京都駅については特に京都の表玄関にあたることから「京都駅ホスピタリティ向上に関する検討会」を開催し、各インフォメーション窓口間で観光客のニーズに適切な窓口を案内・誘導できるよう、各窓口の機能等の情報共有をすすめた。

#### **IV. 観光客の利便向上を図る販売事業**（収益事業等会計 [収益]）

##### 1 二条城売店の運営

平成28年3月にリニューアルオープンした元離宮二条城大休憩所内の店舗において、物販コーナーに加え、新たにイートインコーナーの運営を行った。

物販コーナーでは、二条城限定のオリジナル商品開発やクレジットカード取扱いの拡充、免税販売の更なる推進を図るとともに、リニューアルを機に店舗内に新設した観光案内カウンターでの案内業務や各種観光情報ツールの提供を行うことにより、利用者へのサービスの向上を図った。

イートインコーナーでは、「京の食文化をトッピングする」をテーマに、京銘菓・京の産品を使用した二条城限定メニューを提供し、二条城の新たな魅力向上に努めた。

なお、平成29年1月から物販店舗において「酒類販売業免許」を取得し、京の銘酒をはじめとする酒類の販売を開始した。

##### 2 各案内所での有料出版物等の販売

観光客の利便に供する出版物（京都トレイル地図等）や交通系チケット、催事入場券等を各案内所で販売した。

#### **V. 観光施設等運営事業**（収益事業等会計 [収益]）

##### 旧三井家下鴨別邸の管理運営

国の重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の運営を、下鴨神社、三井不動産レジデン

シャルサービス関西、曾根造園、協会の4者で構成する共同事業体「京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム」として、京都市より受託し、平成28年10月1日より同施設の管理運営を開始した。

当協会は同コンソーシアムの代表団体として、来場者の受入誘導や施設の貸出などの指定管理業務を行うとともに、館内でのガイド案内や、オリジナルグッズの販売、庭園を眺めながらの喫茶コーナーの運営など、施設の魅力の向上を図る自主事業を展開するとともに、秋季には期間限定で、通常非公開の2階、3階部分の特別公開を実施した。

なお、当協会は、同コンソーシアムから、管理運営に要する費用の弁済及び運営により生じる経常利益の7割の配当を収入することとなっている。

○平成28年度実績（平成28年10月～平成29年3月）

入場者数 59,440人（1日平均383人）

うち特別公開期間（平成28年11月19日～12月4日）

19,903人（1日平均1,244人）

## VI. 共催・後援・会員向け事業（収益事業等会計 [相互扶助その他]）

### 1 会員勧募

当協会の組織の強化及び拡充を図り、京都を挙げての観光振興を図る推進体制を確立するため、観光関係事業者をはじめとした各界の幅広い分野に対し、年間を通じて積極的な勧募活動を行った。特に28年度は、現在の京都観光の状況を反映し、新規開業した宿泊施設やレンタル着物店の入会が目立った。

○平成28年定時総会以降の入会件数 50件（平成27年度 54件）

会員総数 1,416件（平成27年度 1,386件）

### 2 会報の発行

当協会の活動状況などを中心に編集した「京観協だより」を、4月、7月、10月、1月の年4回発行し会員へ送付した。当協会主催事業の紹介や結果報告等とともに、新入会員の紹介や京都総合観光案内所の利用状況の報告など、会員にとって有用性の高い情報の提供を行った。また、発行後はホームページの会員向けページに掲載し、手軽に閲覧ができるようにした。

### 3 会員紹介・PR事業の実施

- (1) 京都総合観光案内所「京なび」や「京都市河原町三条観光情報コーナー」をはじめ電話等による問合せ、協会の各種発行物、ホームページ、SNS において、観光協会会員の店舗・施設を優先的に紹介、PRを行った。
- (2) 会員の協賛により作成した各言語観光地図を、京都総合観光案内所「京なび」や「京都市河原町三条観光情報コーナー」および市内施設等において配布することにより、会員情報を発信した。
- (3) 会員に対して、情報提供を呼びかけるシートを送付し、会員情報を収集し各種発行物やホームページ、SNS 等において発信を行った。
- (4) 協会ホームページに会員向けページを設け、様々な情報をリアルタイムに掲示することにより、会員に対し速やかな情報提供を可能にするとともに、会員より発信したい情報を募り掲示することで、会員サービスの向上を図った。

### 4 表彰

観光意識の高揚を図るため、観光事業の振興に貢献のあった個人の表彰を行った。

○平成 28 年度 表彰者数

観光事業功労者 3名 観光業界功労者 2名 優良観光従事者 36名

合計 41名

### 5 共催・後援

年中行事を中心に各種観光催事など 135 件を共催・後援し、観光客へのPRを実施した。

## **VII. 関係団体等共同事業** (収益事業等会計 [相互扶助その他])

### 1 広域観光事業

### (1) 全国京都会議の運営

京都と全国の“小京都”はじめ、京都ゆかりの市町で組織している全国京都会議の事務局を運営し、京都と小京都のイメージアップおよび観光客誘致を図る事業として、ホームページでの情報発信や外国語情報誌への会員市町紹介記事の掲出など、広域観光宣伝を実施した。

また、9月21日に兵庫県篠山市において32回目となる通常総会を開催し、全国21市町71名の参加のもと、事業計画等が承認された。

○加盟市町数 47市町（平成28年度総会時）

### (2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市や大都市の観光関係団体で構成する大都市観光協会連絡協議会に参加し、通常総会、事務主管者会議において情報交換を行った。

### (3) 近隣各市町との広域観光

大津市、奈良市、京都市の首長による観光分野の意見交換を図る「みやこサミット」を開催し、朝観光の推進や外国人観光客向けの多言語コールセンターの運営等で連携を図るとともに、京都総合観光案内所においては、京都府全域の情報収集やポスター、パンフレット等を収集し、利用者へのきめ細かな情報提供を行い、京都府全域の観光振興を図った。

### (4) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画して足利氏の顕彰を図る諸事業を推進した。

## 2 京都観光施設協議会の運営

京都市内およびその近郊の観光対象施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局を担当し、施設マップ等の共同宣伝用印刷物の配布や観光キャラバンの実施等、共同して誘致宣伝・受入対策の推進を図った。

○加盟施設数 23施設

○観光キャラバン

平成29年2月23日 和歌山県内の旅行会社、バス会社等を訪問

## 3 関係団体等との共同事業

(1) 京都は、優れた会議施設と豊富な観光資源を有するコンベンション都市として

学術会議を中心にした多くの各種会議等の開催実績があり、京都文化交流コンベンションビューローと各種情報を交換するなど連携し、会議誘致の推進を図った。

- (2) 京都ブランド名産品公正取引協議会に参画し、観光土産品の品質向上に努めた。
- (3) 京都市まちの美化推進事業団に参画し、観光地美化キャンペーンや美化啓発活動に取り組んだ。
- (4) 公共交通機関でおこしやす・京都市協議会に参画し、公共交通機関を利用した観光客誘致の推進を図った。
- (5) 嵐山および東山交通対策研究会に参画し、観光地における交通問題について検討を進めた。
- (6) 京都S K Y観光ガイド協会などの市民ボランティアガイドや学生観光ガイド団体との連携のもと、京都総合観光案内所や「京の冬の旅」事業をはじめとする各種事業を実施し、観光客の受入案内業務を推進した。
- (7) 京都一周トレイル会に参画し、京都市が設定する京都一周トレイル事業の推進に取り組んだ。
- (8) 京都市メディア支援センターに参画し、各種メディア等の京都での取材及び映像制作などの支援を通じて、京都の魅力の発信に取り組んだ。
- (9) 京都創生推進フォーラムに参画し、「京都創生」の実現に向けて、関係機関・団体と相互に協力し、地元京都における京都創生の機運の高揚に取り組んだ。  
また、東京都心を舞台に京都創生PR事業「京あるき in 東京」を開催し、「国家戦略としての京都創生」の発信および認知向上を図るとともに、京都の観光、歴史、文化の魅力発信により、京都ファンの一層の拡大に取り組んだ。
- (10) 京都岡崎魅力づくり推進協議会に参画し、岡崎地域を世界に冠たる文化・交流ゾーンとするとともにさらなる賑わいを創出するため取り組んだ。
- (11) 京都市地域活性化総合特別区域協議会に参画し、国際観光都市、歴史都市、文化芸術都市としての京都の魅力をさらに磨きあげ、観光立国の実現を先導するとともに、地域経済の活性化を図った。
- (12) 京都マラソン実行委員会に参画し、国際観光都市京都の魅力を国内外に発信するとともに、京都ブランドの向上に取り組んだ。
- (13) 琵琶湖疏水船下り実行委員会に参画し、明治期の先人たちが築き上げた貴重な産業遺産である琵琶湖疏水を活用し、新たな観光資源を創出することにより、琵琶湖疏水沿線地域の更なる活性化を図った。
- (14) 第67回華道京展に参画し、華道発祥の地である京都華道会の発展と、市民文化の向上に取り組んだ。
- (15) 京都文化カプロジェクト実行委員会に参画し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、京都の優れた伝統文化や生活文化等が体験できるイベントの開催や情報発信を行い、誰もが気軽に楽しめる文化の祭典となるようオール京都で取り組んだ。

- (16) ICOM（国際博物館会議）京都大会 2019 京都推進委員会に参画し、1200 年の時を超えて育んだ京都の有形無形の奥深い魅力を PR すると共に、京都大会の翌年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへとつなげる取組を推進した。
- (17) 東アジア文化都市 2017 準備委員会に参画し、東アジアの多様な文化の国際発信力を高めると共に、京都の文化芸術、産業、観光の振興を推進し、継続的な発展に取り組んだ。
- (18) その他の参画団体または参画団体との共同事業
- ・公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
  - ・公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
  - ・公益財団法人京都伝統伎芸振興財団
  - ・公益社団法人京都府観光連盟
  - ・公益社団法人京のふるさと産品協会
  - ・一般財団法人国民公園協会
  - ・公益社団法人日本観光振興協会
  - ・公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
  - ・IT コンソーシアム京都
  - ・明日の京都文化遺産プラットフォーム
  - ・安心救急ネット京都推進会議
  - ・観光立国推進協議会
  - ・京都学生祭典企画検討委員会
  - ・京都・観光文化検定試験検定委員会
  - ・京都市内博物館施設連絡協議会
  - ・京都ツーデーウォーク実行委員会
  - ・京のアジェンダ 21 フォーラム
  - ・「伝統産業の日」実行委員会
  - ・東海自然歩道連絡協会
  - ・関西ワールドマスタースゲーム 2021 組織委員会
  - ・嵐電サミット
  - ・文化庁移転準備会議
  - ・OKAZAKI LOOPS 実行委員会
  - ・京都テロ対策ネットワーク
  - ・京都市温泉観光活性化協議会
  - ・健康長寿のまち・京都市民会議
  - ・京町家等継承ネット
  - ・京都市住みたい・訪れたいまちづくりに係る財源の在り方に関する検討委員会

**VIII. 事務報告** (平成 28 年度定時総会～平成 29 年度定時総会)

**1 総会**

定時総会 (ウエスティン都ホテル京都) 平成 28 年 6 月 14 日

**2 理事会**

(ウエスティン都ホテル京都) 平成 28 年 6 月 14 日

(京都ブライトンホテル) 平成 29 年 3 月 23 日

(ホテル日航プリンセス京都) 平成 29 年 5 月 26 日

**3 委員会**

(1) 総務委員会 (京都タワーホテル) 平成 29 年 3 月 13 日

(京都ホテルオークラ) 平成 29 年 5 月 18 日

(2) 企画委員会 (ホテル日航プリンセス京都) 平成 28 年 10 月 31 日

(京都東急ホテル) 平成 29 年 3 月 2 日

(3) JR委員会 (京都東急ホテル) 平成 28 年 8 月 30 日

**4 決算監査会**

平成 29 年 5 月 22 日